

サービスラーニングの学習を通して学んだこと・見えてきた課題

活動先：NPO 法人 ふれあいネットワーク美浜
クラス：原田 正樹 先生

1. 事前学習や活動を通して自分が成長したこと・気づいたこと

前期の事前学習では、活動先へ事前訪問に行き実際に利用者さんと会話をして活動しやすい場であると感じたのである。昼食も御馳走して下さい、本当に温かい家庭で家族みたいに向かい入れてくれたことがとてもうれしかったのである。理事長さんに「普段の流れを壊さないようなものが良いという」アドバイスを頂き、「ふれあいネットワーク美浜」で行う活動はどのようなものが良いのかを考えたのである。グループ内では様々な意見が出たのである。グループ内で意見をまとめることは大変であると思ったのである。最終的にふれあいネットワーク美浜での6日間の活動プログラムは「自己紹介」、「お菓子作り」、「ちぎり絵」に決まった。これは、普段の流れを壊さないというアドバイスを頂いたことによるものからである。活動先では利用者さんの人数も他のNPOに比べて少なく、一対一でコミュニケーションをとることが出来たので、どの利用者の方とも深い関係を築くことができたのである。スタッフの方とも昼食作りを通して野菜の切り方や料理の知恵などをたくさん教えていただくことが出来たのである。

利用者の方やスタッフの方と深い関係を築くことができたのは会話である。会話では、「相手と同じ目線で話をする」ということが以前は苦手だったが、少し出来るようになったことが活動を通して成長したと感じたのである。

前期のレポートや記録の内容と後期に入ってから文章を比べてみると、具体的に物事をまとめることが出来ていたと思ったのである。これは、ポスター作製や共同研究などを通して、「文章を簡潔にまとめる力」がついて文章力が成長したと思うのである。

6日間の活動プログラムに対しての利用者さんの反応は、お菓子作りは喜んで下さったのだが、ちぎり絵に関しては、利用者さんは高齢者が多いということで細かい作業はやりたがらない方がいたのでもっと「利用者さん全員が楽しめて、やりたくなるようなプログラムを計画する」ことが出来たらよかったと気づいたのである。この気づきも相手のニーズを客観的に判断することが出来たからであると思うのである。

グループ活動を行う上で、他のメンバーと協力し合い切磋琢磨しながら活動を行うことによって自分の活動に対する考え方や姿勢が大きく変化したことも成長したことである。考えるのである。それと同時に、他のメンバーに任せてしまうことが何度かあったので「自分から積極的に活動を行う」ことが大切なことであると気づいたのである。

6日間の活動は私にとって多くの経験や気づきがあったのである。これからの生活でもこれらのことをしっかりと心に留めて生活をしていかなければ充実した活動も意味のないものになってしまうのではないかと考えるのである。そういった意味でサービスラーニングは自分のスキルを上げてくれたのでこれからの成長にも繋げていくことが大切であると思うのである。

2. 6日間の活動を通して見えてきた地域活動や社会課題

活動を通して私は、ふれあいネットワーク美浜は、温かい家庭的な NPO であるのに地域にあまり認知されていないという現状があると思ったのである。理事長さんはチラシやビラなどを作成してスタッフさんに渡すなどで情報を発信しているのである。しかし、このような活動をしていても利用者さんの数はあまり増えていないということである。私がふれあいネットワーク美浜さんが必要な活動は、多くの人が集まる役場や病院などの機関にポスターを張るといえることが出来るのではないかと考える。その中には、利用者さんの生の声を載せることで良さを多くの人達に知ってもらえるのではないかと考えるのである。他にも、見学会などのレクレーションも行うことが良いのではないかと考えるのである。

ネットワーク美浜での社会課題は行政などとの関わりが少なく孤立をしてしまっているということである。理事長さんは関わりを持ちたいと思っているのに手段が分からない為に上手く輪に入ることが出来ていないと思っているのである。つまり、行政が中心となって NPO 活動を支えているが、ふれあいネットワーク美浜のような末端の NPO との関係が薄いということが原因であると思うのである。その為に、情報が流れないことにより孤立感を感じてしまうのである。NPO は利用者さん、スタッフさん、支援団体に分かれていて、それぞれで活動するのだが、その中で普段の事業内容や状態や現状について他の NPO との交流ができるようになれば、お互いに良い刺激になり活動が活発になっていくのではないと思うのである。実際にニーズがあるにも関わらず実際に行われていないということは大きな課題である。私が提案したいのは、行政や社会福祉協議会などがニーズを持っている NPO の話を聴く場を設けるということである。すると、お互いに情報共有が出来て少しずつ関係が良くなっていくのではないと思うのである。

以上のことから、ふれあいネットワーク美浜では利用者さん中心で普段の生活を壊すことなくアットホームな人間関係を育むことができるという良い点を地域に発信していくことで地域に根ざした NPO になると思うのである。その為に、理事長さんが行政に働きかけるなど声を発して欲しいと思うのである。行政はニーズを形にするように協力をしてもらいたいと思うのである。

3. 最後に

私は一年間のサービスマーケティングの講義を通して、成長したこと・気づいたことは、

- ・会話において「相手と同じ目線で話をする」
- ・ポスター制作やレポート作成において「文章を簡潔にまとめる力」
- ・計画を立てる場において「利用者さん全員が楽しんで、やりたくなるようなプログラムを計画する」
- ・グループ活動において「自分から積極的に活動を行う」

以上の4点である。

最後に、サービスマーケティングでお世話になった活動先の理事長さん、スタッフさん、利用者さん、色々勉強になりました。本当にありがとうございました。これからも宜しくお願いします。